

Link & Think

法学で街とつながる、社会の未来を考える。



法学部
COLLEGE OF LAW

Link&Think

法学で街とつながる、社会の未来を考える。

すべてのスポーツにルールがあるように、
すべての街には「法」というルールがあります。
それは人を縛るためのものではなく、
私たちが安全で豊かな今を過ごし、
未来に向かって生きていくための道標のようなもの。
関東学院大学で学ぶのは、
そんな社会と人のための法学です。
ここ横浜で街と深く関わり、暮らすように学ぶ。
そして法学の考え方や新たな視点を身につけていく。
そしてその先は、社会とあなたの
幸せな未来につながっているはずです。



法学部長
教授 出石 稔
Minoru Izuishi

社会の課題を解決できる人材を。
—「知域融合」の2つのアプローチ—

関東学院大学は、「人になれ、奉仕せよ」を校訓に掲げています。法学部では、教養科目や専門科目を学ぶことにより、知識を修得し、思考力や判断力、表現力を身につけます。校訓の「人になれ」の果実といえます。しかし、身につけた素養を使えなければ意味がありません。課題は実社会、特に地域にあります。社会の基盤をなす法を活用し、かつ多様な人々と協働して社会で起こる課題を解決できる、法的スキルをもって社会に貢献できるようになることが大切です。校訓の「奉仕せよ」の果実といえます。これが、大学が取り組む「社会連携教育」にほかなりません。法学部は2学科体制を採用しています。法学科は、社会的課題に関する法を理解し、法を当てはめて課題の解決を図る法学教育を中心に据えています。法的知識を獲得した上で、少人数ゼミなどを通じて社会に通用する人材を育成します。地域創生学科は、社会、特に地域の課題を知る実践的学びから、課題解決のためにどのような解決手法があるかを探る現場主義をモットーに、地域共生人材を育成します。法学科は「理論から実践」のアプローチ、地域創生学科は「実践から理論」のアプローチと道程は異なりますが、さまざまな社会の課題に立ち向かい、解決を導き出せる「知域融合」人材を送り出す共通の目的に立っています。

出石 稔 PROFILE

鳥取県生まれ。専門は地方自治。1985年横須賀市役所入庁。22年間の自治体実務経験の後、2007年に関東学院大学法学部教授就任。地方自治の理論と実践をつなぐ教育・研究に従事。主な著書に『自治体政策法務-地域特性に適合した法環境の創造』（共編著）有斐閣、『自治体政策法務の理論と課題別実践』（共編著）第一法規など。

法学部 の特長

2学科体制を採用する法学部。法学科では「理論から実践」、地域創生学科では「実践から理論」のアプローチを行い、社会の課題を解決できる「知域融合」人材を育成しています。

1 在学中は、「半分社会人」として地域とつながる

「地域創生まじゅんプロジェクト」に代表されるような、地域の課題をそこに暮らす方々との信頼関係を築きながらともに考える社会連携プロジェクトを数多く実施。地域課題を行動し、感じることで考察力が向上、現場で動ける力と考える力を得て、調査・分析をすることにより、説得力ある提案ができるようになります。卒業後を見据えたこれらの活動は、学生というより「半分社会人」として学ぶといえます。



2 法曹や自治体のキーマンを講師に「今」を考える

神奈川県弁護士会の全面協力で2023年度から開講しているのが、「法学特論」。横浜地方裁判所および横浜地方検察庁の協力も得て、弁護士・裁判官・検察官など法曹実務家から現場の声を聞く講義です。また、各自治体が取り組む政策を、県知事、市長、町長など自治体の当事者が講義するのが「地域創生特論」です。地域を感じる講義で卒業後に地域をより良くする人材を育成しています。

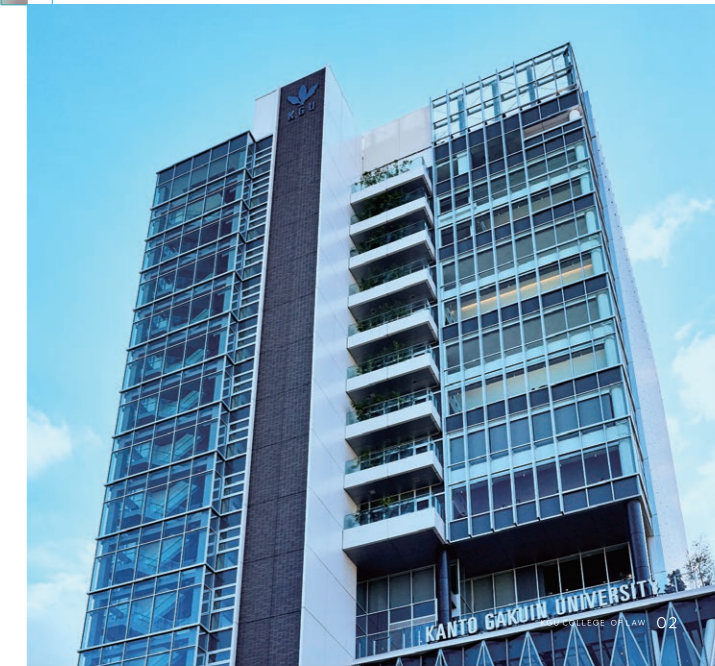


3 行政・司法の中心区、関内キャンパスで駆け合う

法学部の横浜・関内キャンパスは、国際都市横浜の行政・司法の中心区に2023年4月に開校。横浜スタジアムを眼前に、大通り公園に面するキャンパスは、地上17階、地下2階からなる都市型キャンパス。コワーキングスペースやデジタル図書室など市民にも開放するフロアも多数設置。学生と市民、大学と企業、国内と国外など「知が駆け合う交流拠点」です。



M
E
S
S
A
G
E
F
R
O
M
T
H
E
D
E
A
N



法学科の学び

Education in the Department of Law



法律科目を中心に学び、その理論をもとにゼミナール・法学特論などの科目を学ぶことで実践的能力も養っていく。



- コース ●司法コース ●行政コース ●企業コース
- 特長 ●リーガルマインドを育てる ●充実した少人数教育

法学科 3つのポイント

- 1 「理論」から「実践」へ
法律科目を中心に法学の理論を学び、公正・公平に判断し解決に導く能力を涵養しながら、実社会で即戦力となりうる、実践力も身につけます。
- 2 社会とつながる学修
コース入門や特別講義、法学特論では、弁護士など法曹三者や各種資格者、自治体職員、課題現場のキーパーソンなどのゲスト講師から社会の現場を学びます。
- 3 ゼミナール・専門演習による少人数教育
ゼミナール・専門演習では、調査、報告、討論などを通じて特定のテーマやトピックに関する理論を深く学ぶなかで、実践力も養います。

法学科 授業紹介



刑事裁判は一般には検察官が行う起訴によってはじまりますが、刑事訴訟法2では起訴以後の審理に関する手続を学修します。具体的には、起訴のしくみや裁判員裁判も含めたいろいろな公判手続の意義のほか、事実を認定するためにどういった証拠を用いることができるのかなどを考えていきます。



民法は、私人の法律関係を一般に規律する重要な法であり、その対象が極めて広範かつ多岐にわたります。民法入門では、1年生の春学期においてその全体を概観することによって、秋学期以降の学修の土台を作ります。反転授業を行い、初学者にもしっかりと民法の基礎を身に付けてもらいます。



死刑は、強制的に生命を奪う刑罰です。もし誤った裁判によってこの残酷で無慈悲な刑罰が言い渡され、執行されたら……。私たちの社会にも実在する「死刑冤罪」という痛憤・痛恨の記憶をふり返り、その苦くて重い教訓に学びながら、死刑制度や日本刑事司法に対するアプローチの視点を探りましょう。

Student Voice

法学とともに英語を学ぶ楽しさを知り、自分の世界が大きく広がりました。

濱崎 雄大さん | 法学科 4年 神奈川県立逗葉高等学校出身 | 選抜方法 ▶ 学校推薦型選抜

法廷ドラマがきっかけで、法学部に入学しました。「会社法」などの法律科目で判例をもとにケーススタディを行い、異なる意見を聞くことで視野が広がったと実感しています。また、1年次に履修した「TOEICスキルズ」で英語の楽しさも知り、アメリカ留学も経験。意見を主張し合う環境で過ごすうちに、思いを率直に伝えられるようになりました。



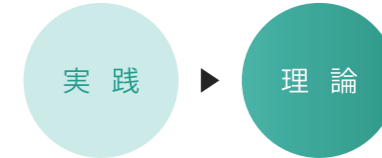
- 4 YEAR PROCESS
- 1年 勉強を継続することの大切さを学ぶ
英語や韓国語の学習を通じてコツコツ努力すれば着実に力がつく実感。特に英語力が大きく向上しました。
 - 2年 地域創生ゼミでファシリテーターに挑戦
自治体の魅力を語り合うカフェトークでファシリテーターを務め、市民の皆さんの多様な考えに触れました。
 - 3年 アメリカの大学に留学し現地学生と友情を深めた
ルームメイトや趣味のバスケット仲間など、留学時代を支えてくれた友人とは帰国後もSNSでつながっています。
 - 4年 体と心を鍛えるため日常的に努力を続ける
留学時からジム通いを継続。バスケット仲間や先輩と交流しコミュニケーション力を鍛えています。
- 詳しくはWEBをチェック!

地域創生学科の学び

Education in the Department of Law for Regional Development



自治体や実務家による授業などの実践的な内容を中心に学び、その根底にある法の基礎理論を学ぶことで理解を深めていく。



- コース ●地域デザインコース ●地域安全コース
- 特長 ●かながわに学び、かながわを学ぶ ●自治体の実践が学べる独自科目

地域創生学科 3つのポイント

- 1 「実践」から「理論」へ
地域実践演習、地域創生まじゅんプロジェクト、関内プロジェクト演習などの実践科目を中心に学び、地域創生の実践的視座から法学の理論を身につけます。
- 2 自治体と連携した学修
地域創生特論では、知事、市長や関係職員が各自自治体で取り組む市民生活、健康福祉、環境、まちづくりなどの様々な課題と政策を学びます。
- 3 ゼミナール・専門演習による少人数教育
ゼミナール・専門演習では、調査、報告、討論などを通じて特定のテーマやトピックに関する実践を深く学ぶなかで、理論も身につけます。

地域創生学科 授業紹介



日本の地域社会が抱える課題を知り、それにどう対処していくかを考えてもらうための講義です。「課題」として地方の人口減少、少子高齢化や格差・貧困問題を取り上げます。そして、「対処」のカギとして「社会関係資本」という概念を取り上げ、これを活用した各地での取り組みを紹介し、分析しています。



世界で最も少子高齢化が進んでいる日本において、年金制度や医療制度はどうなってしまうのでしょうか。この授業では、年金、医療、福祉などの社会保障制度について、どのような時にどのような給付が受けられるのか、各制度の内容を説明します。次に、社会保障制度が抱える様々な問題と、その解決策について考えていきます。



名所旧跡、名湯・秘湯など有名な観光資源がどこのまちにもあるとは限りません。しかし、どこのまちにも固有の「地域文化」はあります。身近過ぎて見えていないだけです。「地域文化」は人々をひきつける磁石のような力を持っています。この演習では、こうした「地域文化」を発掘し、磨き上げる手法を学び、実践します。

Student Voice

地域の生の声を聞き社会とつながりながら、好きなことを思いきり学んでいます。

加藤 桃香さん | 地域創生学科 3年 神奈川県 横浜隼人高等学校出身 | 選抜方法 ▶ 学校推薦型選抜

幼い頃から地域活動に参加し、「地域」について学びたいという思いが芽生え、地域創生学科を選びました。ゼミ活動では、自治体の課題解決を目指し、地元の方の話を聞きながら政策提言の準備を進めています。「地域創生特論」など、現役の知事や市長から自治体の課題や取り組みを聞く機会もあり、行政への興味が強くなっています。



- 4 YEAR PROCESS
- 1年 接客のアルバイトとサークル活動をスタート
アルバイト開始と同時によきこいサークルに所属。どちらもよい出会いがあり、交友関係が広がりました。
 - 2年 ゼミナール配属とサークルの代替わり
ゼミでは社会と関わりながら学び、サークルでは年長者として人前に立つことにも慣れ、成長できました。
 - 3年 平湯祭を最後にサークル活動を引退
サークルの副代表と平湯祭統括を務め10月末で引退。同期や先輩から頑張りを認められ自信ができました。
 - 4年 就職活動が本格的にスタート
自治体や市民の声を聞きながら学んだ経験を活かし、地域の方々に寄り添い貢献できる仕事に就きたいです。
- 詳しくはWEBをチェック!

就職支援

段階的なキャリア形成で
就職活動をしっかりサポート



就職支援センター

目指すキャリアをサポートする充実した体制とプログラム
就職全般に関する相談をはじめ、エントリーシートの添削や模擬面接指導などの就職活動の支援のほか、就職ガイダンスや就職支援プログラムを開催しています。

就活アカデミー

就活への意識を高め、ノウハウを得る

キャリア担当の専門教員を講師として、キャンパス内で定期的に開催される学部独自のイベントです。就活に必要な実践的ノウハウを気軽に学ぶことができます。

主な就職先

東京地方検察庁／財務省関東財務局／大田区役所／川崎市役所／鎌倉市役所／小田原市役所／十日町市役所／湯河原町役場／警視庁／神奈川県警察本部／静岡県警察本部／新潟県警察本部／福岡県警察本部／東京消防庁／横浜市消防局／東京国税局／千代田区役所／秦野市役所／伊東市役所／竹田市役所／喜多市役所／鏡石町役場／東京都交通局／(株)みずほフィナンシャルグループ／(株)横浜銀行／(株)神奈川銀行／(株)静岡中央銀行／湘南信用金庫／日本郵便(株)／東急電鉄(株)／日本貨物鉄道(株)／大和ハウス工業(株)／ミサワホーム(株)／栗田工業(株)／SMC(株)／アサヒ飲料(株)／松竹(株)／日本赤十字社／(株)佐賀銀行／さわやか信用金庫／かながわ信用金庫／横浜農業協同組合／日本通運(株)／東京ガスネットワーク(株)／(株)オープンハウス／リコージャパン(株)／イオンリテール(株)／(株)マキタ／セコム(株)／富士フィルムビジネスイノベーション(株) など

全員キャリアカウンセリング

全員が専門家と1対1で相談し、自分の進路を切り開く
全3年生を対象に、進路の専門家であるキャリアカウンセラーとの1対1の面談を春・秋の2回実施。進路に向けて適切な時に主体的に活動できるようサポートしています。

自己発見・キャリア形成科目

正規講義で、キャリア教育を1年生から実施

法学部のカリキュラムの「自己発見・キャリア形成科目」という科目群には、各学年に応じ、自分を見つめ、将来の進路を考え、そしてスキルを磨く科目が配置されています。

Graduate Voice

フィールドワークから学んだ
「相手の視点」で考える
発想法は社会を生き抜く力と
なり私を支えてくれている。



甘利 春泉さん

渡辺パイプ株式会社
法学科 2023年卒業

関東学院大学で経験したフィールドワークを通じ、「自ら課題を発見する力」「情報を整理して解決方法を導く力」「多様な人々と協働できる力」を身につけることができました。所属していたゼミでは、群馬県多野郡上野村という人口の少ない村の地域創生を目的に、空き家をゲストハウスにするアイデアの提案を行い、その準備やプレゼンなど貴重な体験ができました。学内活動の「地域創生まじゅんプロジェクト」では沖縄大学と連携し、沖縄県の課題解決の方法を探りました。これらの経験から、相手の困りごとを相手と同じ目線で考える大切さを学び、現在の仕事でもお客様の視点に立って求められているものを考える思考や迅速さ、正確さを心がけて対応しています。



詳しくは、
法学部オリジナル
サイトをチェック!



Graduate Voice

地域創生学科だからこそ
できるフィールドワークの
経験が「地域のために励む」
という土台を作ってくれた。



神田 康太郎さん

豊後大野市教育委員会社会教育課スポーツ推進係
地域創生学科 2021年卒業

関東学院大学で、大都市と山間部、海、山といった対照的な地域の両方に触れたことで、幅広い学びを得られたと感じています。実際に現地を見て学ぶフィールドワークを取り入れた科目もあり、私は授業の一環で福島県と岩手県に行き、震災復興の事業立案を経験しました。東日本大震災の爪痕が残っている地域や福島第一原子力発電所などを訪ね、現地の方々の話を聞くことで、自分にできることを真剣に考えるようになりました。現在は地元の大分県に戻り、豊後大野市役所に勤務しています。フィールドワークを経験したことで、豊後大野市で暮らす方々が何を求めているのか、地域にどのような課題があるのか、考えながら働いている感覚があります。



詳しくは、
法学部オリジナル
サイトをチェック!



公務員を目指す

公務員になるための
多種多様な学びでサポート



公務員養成寺子屋

公務員を目指す学生を合格に導くトータルなサポート
公務員採用試験は科目数も多く、長時間かけた準備が必要です。そのため、セミナー等に仲間と参加して、モチベーション維持につなげる本学独自の取り組みを行っています。

地方公務員等採用試験対策合同説明会

自治体等の採用情報を得る

地方公務員等を目指す学生が採用試験対策など就職に関する情報を得ることを目的とした説明会。各自治体職員が登壇し、それぞれの地域の特色や課題、業務内容や求める学生像などを説明するほか、個別の説明会も実施されます。

予備校講座(公務員)

受験テクニックを得る

予備校通学、DVD受講、通信講座など、多種多様な予備校講座を特別価格で受講できるため、自分の志望先に合わせて講座を選ぶことができます。

自治体等インターンシップ

自治体等の現場を体験する

自治体等にご協力いただき、学部独自のインターンシップを実施。夏休み等に5日程度の期間、自治体などを訪問し就業体験ができる貴重な機会となっています。

公務員小論文対策講座

公務員試験の小論文を対策する

地方公務員等採用試験の2次試験などで出題される小論文の対策として、専門の講師による小論文の個別添削指導などを行っています。

法職講座

公務員試験などに役立つ基礎的な法律知識を得る

法学部生を応援する課外講座が「法職講座」です。学内では1年次から受講できる「法学基礎力養成講座」、2年次以上対象の「実践実務法学講座」を開講。また、法科大学院入試、公務員試験および各種法律系資格試験合格を目指す学生には、「予備校講座(提携)」を特別価格で提供、受講料補助制度も設けています。



法学検定

法学検定は、法学に関する学力を客観的に評価するものです。本学法学部では、法学基礎力養成講座を受講した者が中心に受験しており、その大半を占める1年生がスタンダード<中級>コース(法学を専門的に学習する者が修得すべきレベル)を受験しています。2023年度、2019年度には、団体・合格者数の部で全国3位になるなど、毎年多くの合格者を輩出しています。

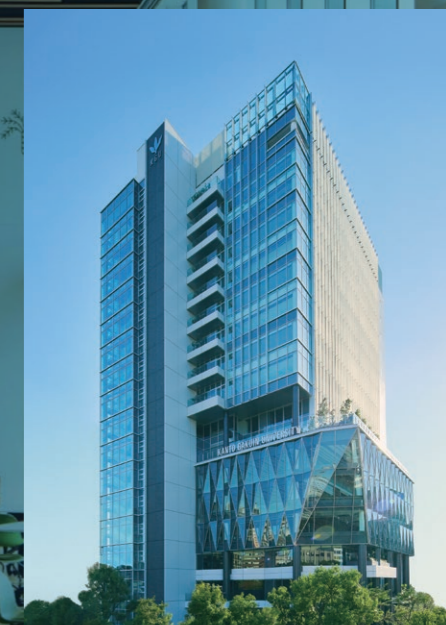
KGU Yokohama Kannai Campus

横浜・関内キャンパス

2023年4月、横浜・関内に新たなキャンパスが誕生。街全体をキャンパスとした社会連携教育と共に、広く社会に開かれた「知の交流拠点」として、自由な発想と学び、アクティブなチャレンジを促し、学生と市民の知的活動を支援していきます。



横浜・関内キャンパスの詳しい情報やアクセス方法はこちら



ADMISSIONS INFORMATION

入試概要

● 総合型選抜 **総合型選抜の選抜方法が大きく変わります!**

基礎学力評価型は他大学と併願可能・学力要素中心に! 探究評価型も新設。

部門	選抜方法	出願期間	試験日
9月募集	NEW 基礎学力評価型 【併願方式】 英語 50点 + 国語 50点 + 書類 100点 + 面接 100点 = 300点満点	2024年 9月10日(火)–9月17日(火)	2024年 10月20日(日)
	NEW 探究評価型 【専願方式】 プレゼン・口頭試問 100点 + 書類 100点 + 面接 100点 = 300点満点	2024年 9月10日(火)–9月17日(火)	2024年 10月20日(日)
	資格型 【専願方式】 資格取得証明書 100点 + 書類 100点 + 面接 100点 = 300点満点	2024年 9月10日(火)–9月17日(火)	2024年 10月20日(日)
11月募集	NEW 基礎学力評価型 【併願方式】 英語 50点 + 国語 50点 + 書類 100点 + 面接 100点 = 300点満点	2024年 11月4日(月)–11月12日(火)	2024年 12月8日(日)
	資格型 【専願方式】 資格取得証明書 100点 + 書類 100点 + 面接 100点 = 300点満点	2024年 11月4日(月)–11月12日(火)	2024年 12月8日(日)

● 一般選抜

選抜区分	出願期間	試験日
前期日程	2025年1月6日(月)–1月20日(月)	2025年2月3日(月)–2月6日(木)
中期日程	2025年2月3日(月)–2月7日(金)	2025年2月18日(火)
後期日程	2025年2月12日(水)–2月21日(金)	2025年3月2日(日)

● 大学入学共通テスト利用選抜

選抜区分	出願期間
前期日程	2025年1月6日(月)–1月24日(金)
中期日程	2025年2月3日(月)–2月10日(月)
後期日程	2025年2月12日(水)–2月21日(金)
後期日程 5科目スカラシップ型	2025年3月6日(木)–3月14日(金)

詳しい情報はWEBでチェック!

法学部



地域創生
学科



法学部オリジナルサイト COLLEGE OF LAW ORIGINAL SITE

法学部オリジナルサイトがリニューアル! 学部概要から、学生インタビュー、教員紹介、教員による時事問題の考察や、オープンキャンパス・入試情報まで、法学部の情報が全てここに。さあ、今すぐWEBサイトをチェックしよう!

詳しくは右記検索かQRで

<https://hougaku.kanto-gakuin.ac.jp/>

